

ロングライフ サービス インターバルおよび固定サービス インターバルに関する情報

サービス識別 [参照箇所](#)

ロングライフ サービス インターバル [参照箇所](#)

固定サービス インターバル [参照箇所](#)

サービス インターバル ディスプレイ [参照箇所](#)

サービス識別

- ビークル データー ステッカーに従って確認する。 [参照箇所](#) 車両のPR No.が“QG0”、“QG1”、“QG2”のどれであるかを確認する。PR No.によりサービス インターバルが特定される。 [参照箇所](#)

車両識別が以下のPR No.となっている場合

“QG1”は、ロングライフ サービス インターバルを意味する。

“QG0”または“QG2”は、固定サービス インターバルを意味する。

ロングライフ サービス インターバル

PR No.が“QG1”の車両

ロングライフ サービス インターバルでは、個々の車両の運転方法および作動条件に応じてサービス インターバルを長くすることができる。

注:

ロングライフ サービス インターバルの場合、専用のロングライフ エンジン オイルが必要になる。 [参照箇所](#)

PR No.が“QG1”の車両は、工場出荷時にロングライフ サービス インターバル対応となっている。これはこの車両にフレキシブル サービス インターバル ディスプレイがあり、以下のコンポーネントが取り付けられていることを意味する:

- ◆ ダッシュ パネル インサートのフレキシブル サービス インターバル ディスプレイ
- ◆ エンジン オイル レベル センサー
- ◆ ブレーキ パッド摩耗インジケーター(取り付けられている場合)

ロングライフ サービス インターバル対応車両の場合、サービス インターバルはコントロール ユニットによって判断され、サービス インターバル ディスプレイによりドライバーに [参照箇所](#) 表示される。

従って、ロングライフ サービス インターバルのサービス インターバルはフレキシブルである。

このフレキシブル サービス インターバルは、エンジン オイルの交換を含むすべてのメンテナンス作業に適用される。

固定サービス インターバル

固定サービス インターバルとなるPR No.が“QG0/QG2”の車両の場合は、Volkswagen社が事前に決めている走行距離数または日数に準拠したサービス インターバルで算出される。通常の作動条件であれば、これらのサービス インターバルを遵守することにより安全性は技術的に保障される。

従って、固定サービス インターバルは、ノンフレキシブル(固定)である。

以下の車両の場合、

- ◆ 納車時にロングライフ サービス インターバル(ESI)が適用されていない(PR No.“QG0” = ESI無し、PR No.“QG2” = ESI禁止)
- ◆ またはロングライフ サービス インターバルが停止されている

- ◆ またはロングライフ エンジン オイルが使用されていない

固定サービス インターバルが適用される。

この固定サービス インターバルは、エンジン オイルの交換を含むすべてのメンテナンス作業に適用される。

PR No.が“QG0” の車両

工場出荷時にロングライフ サービス インターバルのコンポーネントが“取り付けられていない” 車両。メンテナンス作業には、固定サービス インターバルが適用される。

PR No.が“QG2” の車両

工場出荷時にロングライフ サービス インターバルが適用されていない。この車両には固定サービス インターバル ディスプレイ(SIA)が適用されており [参照箇所](#) メンテナンス作業には、固定サービス インターバルが適用される。この車両には、以下のコンポーネントが取り付けられている：

- ◆ ダッシュ パネル インサートの固定サービス インターバル ディスプレイ
- ◆ エンジン オイル レベル センサー
- ◆ ブレーキ パッド摩耗インジケーター(取り付けられている場合)

PR No.が“QG3” の車両

工場出荷時にロングライフ サービス インターバルが適用されていない。この車両には固定サービス インターバル ディスプレイ(SIA)が適用されており [参照箇所](#) メンテナンス作業には、固定サービス インターバルが適用される。この車両には、以下のコンポーネントが取り付けられている：

- ◆ ダッシュ パネル インサートの固定サービス インターバル ディスプレイ
- ◆ ブレーキ パッド摩耗インジケーター(取り付けられている場合)

サービス インターバル ディスプレイ

ロングライフ サービス インターバルの適用 [参照箇所](#)

フレキシブル サービス インターバル ディスプレイ(PR No.QG1のロングライフ サービス インターバル対応車のみ) [参照箇所](#)

固定サービス インターバル ディスプレイ(PR No. “QG0/QG2” の固定サービス インターバル対応車のみ) [参照箇所](#)

定期サービス時のサービス項目 [参照箇所](#)

サービス予告 [参照箇所](#)

ダッシュ パネル インサート操作ボタンを使用してのサービス インフォメーション呼び出し [参照箇所](#) .

サービス インターバル ディスプレイ:リセット [参照箇所](#)

サービス インターバル ディスプレイ:再コーディング [参照箇所](#)

ロングライフ サービス インターバルの適用

自国市場でロングライフ サービス インターバルが適用されるかどうかは、インポーターに問い合わせる。

フレキシブル サービス インターバル ディスプレイ(PR No.QG1のロングライフ サービス インターバル対応車のみ)

サービス インターバルの算出：

- ◆ ロングライフ サービス インターバル対応車両の場合、サービス インターバルは走行距離数、燃料消費量、オイル温度、ディーゼル パーティキュレート フィルターの負荷等の各種入力測定値を評価することで決定される。

- ◆ これらの評価に基づく結果が、温度負荷に伴うエンジン オイルの摩耗量となる。
- ◆ 次回サービスまでの残存走行距離数は、このエンジン オイルの摩耗によって左右される。

注:
 ロングライフ サービス インターバル対応車(PR No. QG1)において、固定サービス インターバルに基づくサービスを受ける場合は、サービス インターバル ディスプレイを“固定”に再コーディングする必要がある [参照箇所](#)。

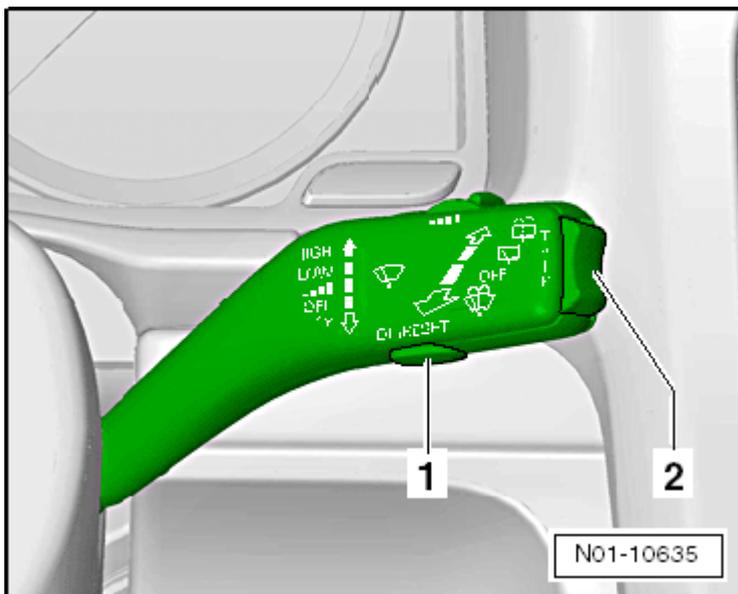
固定サービス インターバル ディスプレイ(PR No.が“QG0/QG2”の固定サービス インターバル対応車のみ)

サービス インターバルの算出:

- ◆ 固定サービス インターバル適用車両の場合、サービス インターバルは Volkswagen社が事前に決めている走行距離数または日数に準拠したサービス インターバルで算出される。
- ◆ 通常の作動条件であれば、これらのサービス インターバルを遵守することにより安全性は技術的に保障される。

定期サービス時のサービス項目

- ◆ サービス期限に到達した場合、イグニッション スイッチをオンにしたときに警告音が鳴り、数秒間“スパナのマーク”が表れて点滅する。
- ウィンドスクリーン ワイパー レバーのマルチ ファンクション インジケータの“OKボタン”-1- を押して、通常表示に切り替えることができる。



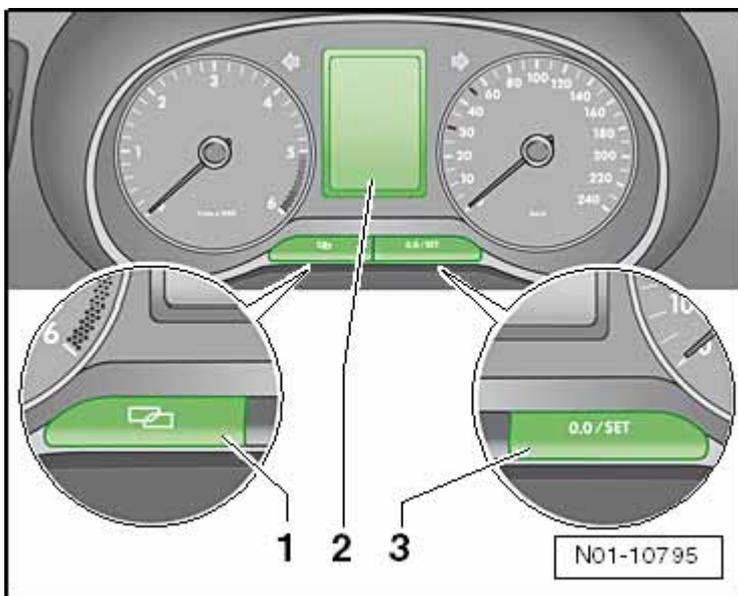
- さらに、ダッシュ パネル インサートにあるボタン -3- を押すことによっても通常表示に切り替えることができる。

サービス予告

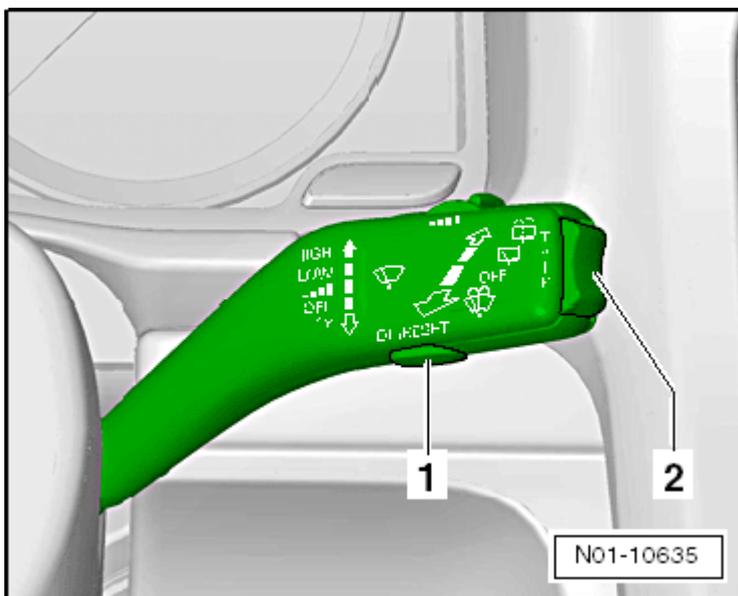
サービス期限に到達した場合、イグニッション オン時、ダッシュ パネル インサートのディスプレイに“サービス予告”が表示される。

- ◆ “スパナ シンボル” およびサービス期限までの残りキロメートル数“km”を表示することができる。
- ◆ さらに、“時計シンボル”とサービス期日までの日数を表示することもできる。

約10秒後、これらの表示は通常モードに戻る。

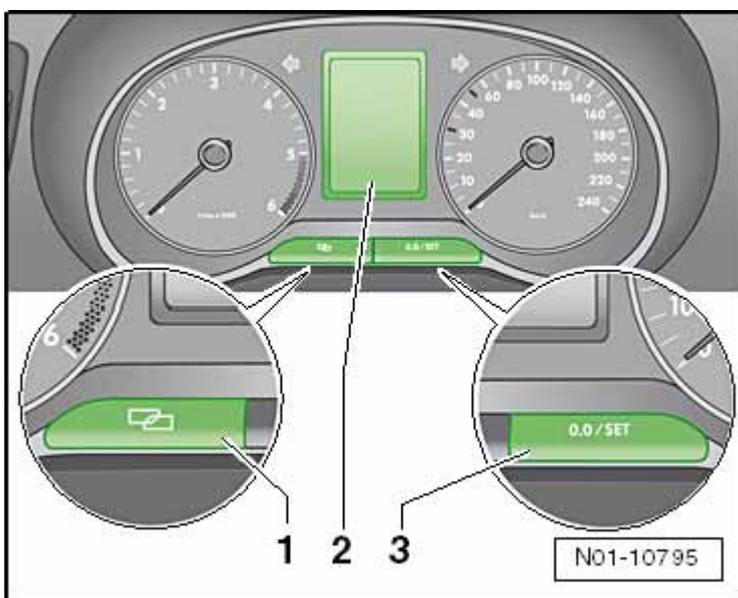


ウインドスクリーン ワイパー レバーのマルチ ファンクション インジケーターの“OKボタン”-1- を押して、通常表示に切り替えることができます。



– さらに、ダッシュ パネル インサートにあるボタン -3- を押すことによっても通常表示に切り替えることができます。

- ◆ サービス予告は、最初に算出されたサービス期限の20日前に表示される。
- ◆ 必ず残りの走行距離は100km単位、残りの時間は日単位で表示される。



ダッシュ パネル インサートの操作ボタンを使用してのサービス インフォメーション呼び出し

イグニッション スイッチがオンでエンジンが停止状態、また車両が静止した状態であれば、いつでも最新のサービス インフォメーションを呼び出すことができます。

– ボタン -1- を4回押す。

残り走行時間/距離が日数およびkmでディスプレイ -2- に表示される

期限を過ぎたサービスには、キロメートルまたは日数表示の前にマイナス記号がつく。

